

『80テーマで学ぶ世界と日本の近現代史』

発刊記念

高校歴史教育 シンポジウム



歴教協編『80テーマで学ぶ世界と日本の近現代史——歴史総合・日本史探究・世界史探究』（大月書店）は、高校歴史3科目において世界と日本の近現代史を学習することに重点をおき、その創造的な授業プランを提示しました。本書の発刊を機に、近現代史学習がさらに広がることを期待して、高校歴史教育シンポジウムを企画しました。

日時 2024年 **11月16日** 土 [14:00~17:00]

会場 明治大学駿河台校舎グローバルフロント2階 4021 教室 (対面のみ)

主催 歴史教育者協議会、大月書店

参加費 700円

開催挨拶 山田 朗 (歴教協委員長・明治大学)

記念講演 中村江里 (上智大学)

著書に『戦争とトラウマ』（吉川弘文館）、『戦争と文化的トラウマ』（共編著、日本評論社）ほか。最近の論文に「戦争のトラウマを可視化する」（『世界』9月号）

「戦争トラウマ、ジェンダーから考える近現代史」

実践報告 ①歴史総合 小林優香 (法政大学中学高等学校) ……「戦争の記憶」

②日本史探究 松井知沙 (千葉県立千葉女子高等学校) ……「本土決戦体制」

③世界史探究 良知永行 (浜松市立高等学校) ……「核兵器と核廃絶の歴史」

全体討論 高校歴史教育をどう創造するか ……コーディネーター：米山宏史 (本書編集委員)

閉会挨拶 関原正裕 (本書編集委員)



お問い合わせ

歴史教育者協議会

TEL : 03-3947-5701

Email : jimukyoku@rekkyo.org